

2009年

11月5日

木曜日

日刊工業新聞

中小企業総合展が開幕

500社が商機狙う

経済産業省・中小企業庁と中小企業基盤整備機構などが共催の「中小企業総合展2009 in TOKYO」写真」が4日、東京ビッグサイト(東京都江東区)で始まった。優れた技術を持つ

中小企業約500社が集結、新たなビジネスチャンスを狙う。開催は6日まで。

今回は「元気なモノ作り中小企業300社」に選ばれた企業や各種支援策の認定を受けた企業な



どの出展が中心。環境関連の展示が目立ち、エムダイヤ(富山県上市町)は

樹脂と鉄芯などの複合素材を分離、破砕できる装置を出展。森弘吉社長は

「製造時の不良品を再利用する場合などに売り込みたいと話していた。

静岡(神奈川県大和市)は吸音遮音パネル「一人静」、マキ商会(埼玉県志木市)は天然素材の紙おしぼり「グリーンエイジ」を出展した。